令和 6 年度　学校評価総括表　　学校名　生駒市生駒北小中学校　　所属長名　小竹 仙哉

Ⅰ 学校教育目標　自ら考え行動し、未来を切り開く児童・生徒の育成

Ⅱ 前年度に残された課題	Ⅲ 本年度の重点課題	Ⅳ 来年度に残された課題
①家庭学習習慣の定着と充実 ②読書習慣の確立 ③体力向上を目指した体育活動の充実 ④地域学校協働活動の定着 ⑤教職員の働き方改革	①伝統文化に触れる学習の充実 ②ICT環境を活用した学習や家庭学習の充実 ③豊かな心を育む読書活動の充実 ④体力向上を目指した体育活動の充実 ⑤家庭や地域と共に歩む学校づくり	①読書習慣の確立 ②家庭学習習慣の定着と充実 ③体力向上を目指した体育活動の充実 ④地域学校協働活動の定着 ⑤教職員の働き方改革

〔1〕（重点課題番号）評価項目	[2]具体的達成目標と評価指標 具体的に、何を、いつまでに、どの水準まで、数値化 公表E 5月8日 公表方法 ☐ ホームページ ☑ 文書配布 ☑ 説明会実施 ☐ その他	評定	[3]自己評価 中間評価 評価日 10月1日 公表日 10月6日 公表方法 ☐ ホームページ ☐ 文書配布 ☐ 説明会実施 ☑ その他	[4]外部アンケートの分析 児童生徒アンケート 実施E 2月12日 公表E 3月24日 公表方法 ☑ ホームページ ☐ 文書配布 ☐ 説明会実施 ☐ その他	保護者アンケート 実施E 2月10日 公表E 3月24日 公表方法 ☑ ホームページ ☐ 文書配布 ☐ 説明会実施 ☐ その他	評定	[5]自己評価 最終評価（成果と課題） 評価日 3月3日 公表日 3/7 3/24 公表方法 ☑ ホームページ ☐ 文書配布 ☑ 説明会実施 ☐ その他	課題の改善策等	[6]学校関係者評価 評価者 9人 評価日 3月7日 公表日 3月24日 公表方法 ☑ ホームページ ☐ 文書配布 ☐ 説明会実施 ☐ その他
①	・作法教室・茶道教室の実施（学期に2回）（小） ・茶筌作り体験の実施（中1） ・伝統音楽（琴、三線）学習の実施（中） ・老人クラブとの交流（昔話、昔遊び、モルック体験）（小） ・カルタ大会や百人一首大会など和室の有効活用（小・中）	A	・茶道・作法教室で学ぶ意味や、地域の伝統文化や文化財、和の文化や作法や所作について児童生徒が興味が持てるような取組を行った。	・茶道教室や作法教室などで日本の文化やしきたりについて興味を持って勉強した。（小） 【肯定的意見77%】 ・体験学習（茶筌作り体験・筆作り体験・職場体験・こども園との交流学習等）の時間は楽しい。（中） 【肯定的意見89%】	・お子さんは、茶道教室や作法教室などを通じて、日本の文化やしきたりについて興味を持つことができるようになりましたか。（小） 【肯定的意見77%】 ・学校は、様々な体験活動を通してお子さんに生きる力を身に付けていますか。（小） 【肯定的意見88%】 ・体験学習（茶筌作り・筆作り・職場体験・こども園との交流学習等）が充実している。（中） 【肯定的意見86%】	A	・茶道・作法教室で学ぶ意味や、地域の伝統文化や文化財、和の文化やや作法や所作について児童が興味が持てるような取組を行った。（小） 【肯定的意見86%】 ＊肯定的意見が86%であり達成できた。教員・児童と保護者の意識に少し乖離が見られる。 ・体験的な学習・問題解決的な学習を取り入れ、主体的な学習活動を通して自ら学ぶ意欲と態度を育成している。（中） 【肯定的意見100%】 ＊肯定的意見が、100%であった。児童、保護者の肯定的意見の割合も高いので、達成できたと考える。	・これからも引き続き学校だよりや学年通信やX等を活用して、学習内容等の情報発信を積極的に行い、小学校において「伝統文化に触れる学習の充実」が図られていることを保護者に理解を促すようにする。	・この調子で継続させていってください。 ・茶道は所作だけでなく、気配りについての学習でもあり有意義である。 ・中学生身も年1回でも茶道教室をしてあげられたら良いと思う。
②	・電子黒板、プロジェクター等を活用した授業展開（小・中） ・NHK for Shchoolの活用（小） ・調べ学習における端末の積極的な活用（小・中） ・学校行事の発表等の児童生徒によるプレゼンテーションの実施（小・中） ・eライブラリー、ロイロノートを活用した学習の充実（小・中） ・「トライウィーク」の取り組みの推進（小）	B	・電子黒板やタブレット端末を使った授業を日常的に行い、タブレット端末を活用した個別学習を行っている。 ・中学校の定期テスト前に「トライウィーク」の取り組みを実施している。（小）	・授業や家庭学習で、タブレット端末を積極的に活用した。（小） 【肯定的意見77%】 ・プロジェクターやクロムブックなどのICT機器を使用した授業を受けることで、学習への興味が深まった。（中） 【肯定的意見76%】	・お子さんは、授業や家庭学習でタブレットを使って学習することで、意欲的に学習に取り組んでいますか。（小） 【肯定的意見70%】 ・子どもは、ICT機器を活用した学習を進めることで、学習内容の理解を進めている。（中） 【肯定的意見78%】	A	・電子黒板やタブレット端末を使った授業を日常的に行い、タブレット端末を活用した個別学習を実現した。（小） 【肯定的意見86%】 ＊今年度は昨年度と比べ、肯定的意見が21%上昇しており、改善が図られ、達成できたと考える。 ＊児童、生徒、小中のそれぞれの保護者の評価に大きな開きは見られず、肯定的意見が76%から86%であることより、ほぼ達成できたと考える。	・教員は、今後もITCの活用能力の向上に努めるようにする。 ・児童のITCを活用している学習の様子を、学級通信やX等で情報発信することで学習活動について周知し、理解を得るようにする。	・先生方もICT活用能力を高めていくのは大変だが頑張ってください。 ・ICT機器を活用する学習と、紙に書く学習をうまくバランスして指導することが大切（記憶力等は紙に書く方が優位）だと思う。
③	・学校司書や読書ボランティアや教員による読み聞かせの実施（小） ・ビブリオバトルへの参加（中） ・保護者向け貸出の実施（年2回）	C	・学校司書や読書ボランティアによる読み聞かせを定期的に行い、児童の興味関心を持たせている。（小） ・市内ビブリオバトルには、全校生徒で取り組んでいる。（中） ・朝の読書の時間を設定している。 ・保護者向け貸出の実施	家で10分（低学年）20分（中学年）30分（高学年）以上、本を読んでいる。（小） 【肯定的意見38%】 ・積極的に図書室を利用している。（中） 【肯定的意見39%】 ・よく読書をしている。（中） 【肯定的意見47%】	・お子さんは、家で読書をしていますか。（小） 【肯定的意見42%】 ・子どもは、よく読書をしている。（中） 【肯定的意見43%】	C	・児童に家庭でも読書する習慣を身につけさせるために、学校図書館を活用して読書への興味関心を持たせた。（小） 【肯定的意見86%】 ＊教員は、肯定的意見が86%であり、学校では読書習慣の定着に向けた指導をしていると思われる。しかし、家庭での読書が児童の肯定的意見38%、保護者42%と低いことから、次年度への重点課題とした。 ＊中学校においては、生徒、保護者ともに肯定的意見が50%未満となり、改善が必要な項目である。次年度への重点課題とした。	・学校司書や読書ボランティアによる読み聞かせや、中学生のビブリオバトルへの参加等、読書をする習慣を身につけさせる活動を増やすようにする。 ・保護者に対して、個人懇談や三者懇談時の保護者向け貸出の取組を保護者にしっかりと周知し、家庭においても家族ぐるみで本を身近なものにして読書をする時間をもうける等、今以上に協力を求めていく。	・自分が本を読む習慣が身についていないので、子どもたちには是非ともつけてあげてください。 ・大人が読書体験する活動のような機会をつくるのはどうか。 ・アンケートの質問に『電子書籍等を含む』と付け加えてみてはどうか。
④	・「朝の体操」、「うきうきタイム」、「なかよしタイム」の取り組みの推進（小） ・体育カード等の活用による学習意欲の向上（小） ・準備運動の充実（小・中） ・耐寒かけ足やかけ足納め会の実施（小） ・保健体育での補強運動、持久走、縄跳びの実施（中） ・部活動の再編による活動の活性化（中）	A	・児童に外遊びをすすめたり、一緒に遊んだりして、児童が外で元気に遊ぶように環境を整備している。（小） ・児童が意欲的に体を動かすよう体育の授業を工夫し、十分な運動量を確保している。（小） ・耐寒駆け足を体育授業で実施（小） ・保健体育における準備運動や基礎運動、体力向上の充実を図る。（中）	・休み時間はなるべく外に出て遊んだり、運動したりしている。（小） 【肯定的意見70%】 ・体育の時間には、しっかりと体を動かして運動した。（小） 【肯定的意見93%】	・お子さんは、積極的に体を動かし、外遊びや運動をしていますか。（小） 【肯定的意見82%】	B	・児童に外遊びをすすめたり、一緒に遊んだりして、児童が外で元気に遊ぶように環境を整備した。（小） 【肯定的意見70%】 ＊児童の外遊びについて、児童の肯定的意見は、昨年度と比べてほぼ横ばいである。それに対して保護者は82%、教員は86%と昨年度より10%以上上昇した。児童とは少し乖離しているようなので、児童が外遊びの習慣を実感でき80%以上となるよう、次年度も継続して取組の改善を図っていきたい。 ・児童が意欲的に体を動かすよう体育の授業を工夫し、十分な運動量を確保した。 【肯定的意見86%】 ＊児童の肯定評価も93%であったことより概ね達成できたと考える。今後も継続して、取組の充実を図っていきたい。	・なかよしタイムやうきうきタイムの取組を継続させるとともに、それらの取組の内容の充実と強化を図っていく。	・縦割り班で活動する良さや長所を大切にしてあげてほしい。 ・外遊びが苦手な子への配慮もお願いします。 ・中学生も少ない回数で良いから、昼休みに外で遊ばせてあげてはどうか。
⑤	・地域共生社会を目指した地域学習の推進（小） ・コミュニティスクール（学校運営協議会と地域学校協働活動）の組織づくりと推進 ・育友会総会、役員会での情報発信（学期に1回） ・『学校だより』による情報発信（毎月） ・ホームページとXによる情報発信（随時）	B	・『学校だより』を毎月発行し、ホームページにアップするとともに、自治会へ配布している。 ・小中ともに、ホームページとXを用いて、適宜、情報発信を行っている。 ・育友会総会や役員会で情報発信している。	・アンケート項目なし	・学校は、外部人材を招いて体験活動を取り入れた学習を進めるなど、地域の教育力を生かした教育を行っていますか。（小） 【肯定的意見88%】 ・学校は、教育方針や教育活動を分かりやすく伝え、家庭と連携を図ろうとしていますか。（小） 【肯定的意見77%】 ・学校は、教育方針等を分かりやすく伝えている。（中） 【肯定的意見62%】 ・学校は、家庭との連絡をきめ細かく行っている。（中） 【肯定的意見92%】	B	・学校だよりを毎月発行し、ホームページにアップするとともに、自治会へ配布した。 ・小中ともに、ホームページとXを用いて、情報発信を行った。 ・学校行事の参観も含め、学校運営協議会を年に3回実施した。参観を除く2回は学校関係者評価委員会を兼ね、学校・地域・家庭が協働して学校運営の評価を行った。 【保護者アンケートの結果】 ・学校は、外部人材を招いて体験活動を取り入れた学習を進めるなど、地域の教育力を生かした教育を行っていますか。（小） 【肯定的意見88%】 ・学校は、教育方針や教育活動を分かりやすく伝え、家庭と連携を図ろうとしていますか。（小）【肯定的意見77%】 ・学校は、教育方針等を分かりやすく伝えている。（中）【肯定的意見62%】 ・学校は、家庭との連絡をきめ細かく行っている。（中）【肯定的意見92%】 ＊教員、児童生徒アンケートに該当項目はないが、保護者アンケートの結果及び、評価指標である取組の実施より、概ね達成できたと考える。今後も、学校からの情報発信を工夫するとともに、学校と地域の協働を継続発展させていきたい。	・これからも学校だよりや学年通信、X等を積極的に活用して、学校教育等の情報発信を行うようにする。 ・学校運営協議会で、学校と地域が課題を共有する仕組みができつつある。今後は、この仕組みをさらに発展深化させて、地域学校協働活動への連携につなげていきたい。学校運営協議会と地域学校協働本部の地域連携のあり方について、今後、育友会を通じて保護者への周知をさらに図っていくようにする。	・すべてのことを発信しなくても、保護者が我が子に話しかけるきっかけとなれば十分とも思う。